

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

平成29年 6月 30日

福井県知事 殿

提出者

住所 新潟県新潟市中央区八千代1丁目4番16号

氏名 大成建設株式会社北信越支店
支店長 西岡 巖

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 025-247-1166

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大成建設株式会社北信越支店 福井市庁舎別館耐震改修工事作業所 他
事業場の所在地	福井県福井市 他
計画期間	平成29年4月1日から平成30年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	D06 (総合工事業)
②事業の規模	北信越支店 元請完成工事高 298億9814万円
③従業員数	北信越支店管内 202人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	許可処分業者に委託、埋立

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙(管理体制)のとおり

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(28年度)実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	(特管物)汚泥	(特管物)廃石綿等
	排出量	163 t	16.5 t
	(これまでに実施した取組) 許可処分業者への委託		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	(特管物)廃石綿等	
	排出量	5 t	t
	(今後実施する予定の取組) 許可処分業者への委託		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 他の廃棄物と分けて保管
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 他の廃棄物と分けて保管

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 28年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	— t	— t
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	— t	— t
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 28年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	— t	— t
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	— t	— t

(第4面)

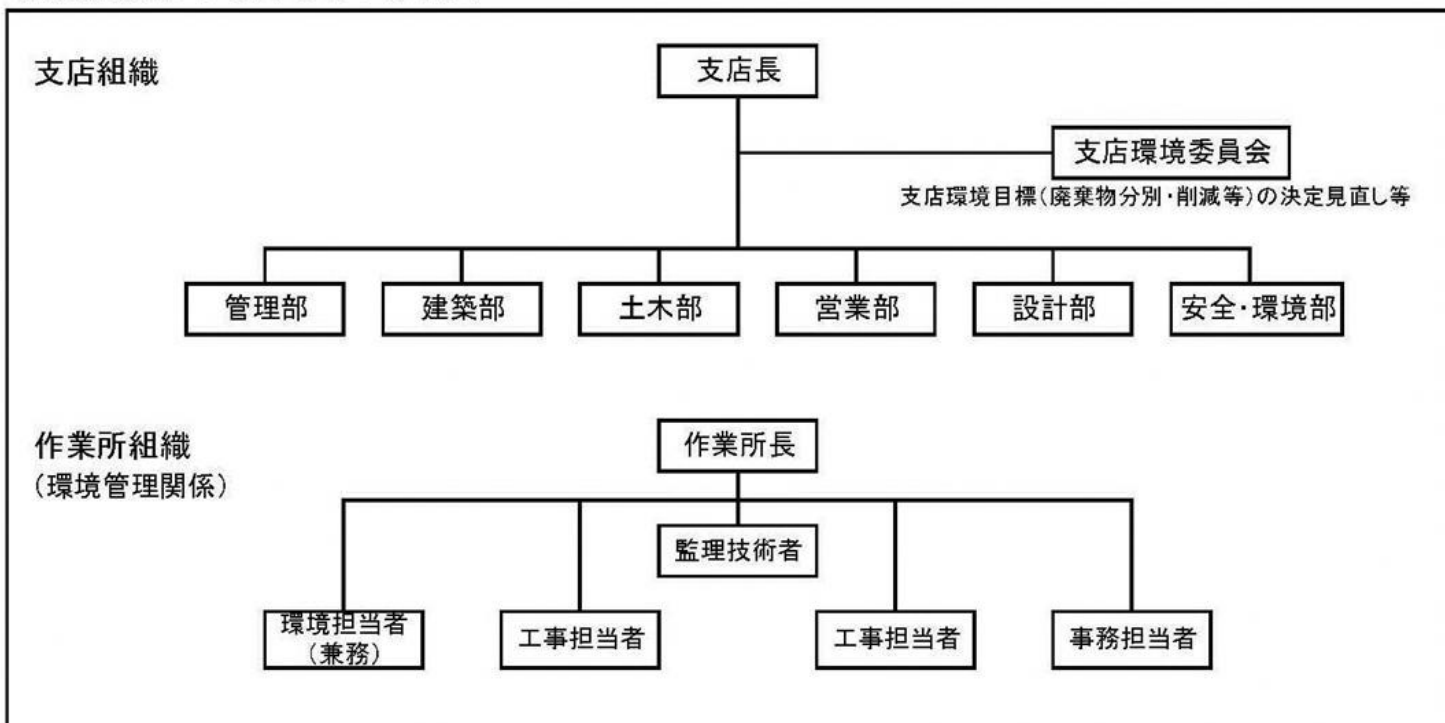
自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 28年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行なった特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) —		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 28年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	(特管物) 汚泥	(特管物) 廃石綿等
	全処理委託量	163 t	16.5 t
	優良認定処理業者への処理委託量	163 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) 委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施。 処理施設の現地調査を行う。			

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	(特管物) 廃石綿等	
	全処理委託量	5 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
<p>(今後実施する予定の取組) 可能な限り優良認定処理業者から委託先を選定する。 委託先処理業者には定期的に現地確認を実施する。</p>			
※事務処理欄			

○廃棄物処理に関する管理体制

	統括管理責任	大成建設株式会社北信越支店 支店長
	廃棄物担当	安全・環境部 3人
役割	支店環境委員会	○廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、再生処理、中間処理、適正処理の推進 計画的な廃棄物の管理を行う上で必要な事項を検討する 事務局－安全・環境部、関連部室長
		○廃棄物処理方針の策定
		○支店の廃棄物管理規定の策定・改廃 ○廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
	廃棄物管理担当者 作業所長	○廃棄物処理計画の作成
		○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討
		○産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握
		○委託契約の締結
		○特別管理産業廃棄物管理責任者、技術管理者等の設置
		○監督官庁への各種報告
		○社員、関連会社に対する教育、啓発 ○その他関係する事項

○廃棄物処理に関する管理体制図



備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。